

いちはらの あゆみ

HISTORY OF ICHIHARA

上総国の中心地として栄えてきた市原市は、
古代からヒトやモノの集まる場所でした。
「いま」につながる長い歴史に、思いを馳せてください。

Ichihara City flourished as the center of the Kazusa Province, and
it has long been a hub for people and goods.
Think back on the long history leading up to the “present day”.



旧石器

約3万5千年前 人が住み始める
(ちはら台から市内最古の石器が出土)

古墳

3世紀前半 東日本最古級の古墳、神門5号墳(惣社)が造られる
5世紀中頃 「王賜」銘鉄剣が作られる
7世紀中頃 上総国が成立。東海道に属する。郡家が置かれ、駅が整備される



「王賜」銘鉄剣の出土した
稲荷台1号墳(山田橋)

奈良 平安 鎌倉 室町

7世紀後半 上総国府が置かれる
8世紀中頃 上総国分寺・尼寺の造営が進む
774年 大伴家持、上総守となる
1020年 『更級日記』の著者、菅原孝標女が帰京
1185年 上総国源頼朝の知行国となる(～1189)
1384年 足利義満、飯香岡八幡宮に神輿を寄進する
室町後期 飯香岡八幡宮本殿(八幡)が造られる

銘文のある鉄剣としては
日本最古の「王賜」
銘鉄剣



江戸

1630年 青柳に千葉県最古の出羽三山供養塔が建てられる
1691年 飯香岡八幡宮拝殿が造られる
1715年 国分寺薬師堂が造られる
1727年 高滝神社社殿が造られる
1823年 松平定信、島穴神社に自筆の扁額を奉納

明治

1868年 菊間藩・鶴舞藩成立(～1871)
1871年 廃藩置県により菊間藩・鶴舞藩などが県となり、のち木更津県に編入
1873年 千葉県に編入、小学校 32 校開校
1889年 町村制施行され1町20村成立(市原郡人口 58,625人)
1897年 市原郡庁を八幡に置く
1912年 蘇我～姉ヶ崎間に鉄道開通

大正

1925年 小湊鉄道が開業し(五井～里見間)、蒸気機関車が走る

臨海工業地帯
(1973年)



1929年 上総国分寺塔跡、国の史跡に指定
1957年 五井・市原地区海浜の埋め立て開始
1959年 臨海コンビナートの操業開始
1960年 辰巳台団地の造成着工

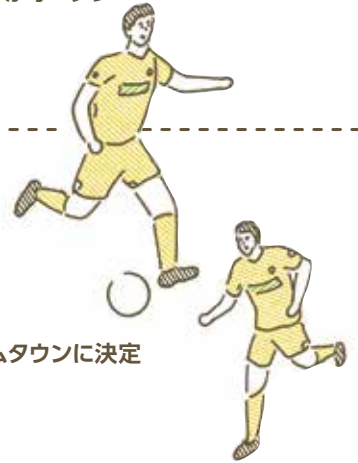
1963年 5町合併し、市原市発足 市庁舎を五井に置く(人口72,788人)

建設中の市原市役所
(1971年頃)



昭和

1967年 南総町・加茂村が市原市に合併(人口125,475人)
1967年 国道16号が開通
1972年 市役所新庁舎(現・第二庁舎など)、国分寺台に完成
1976年 人口20万人を突破
1986年 帝京大学医学部附属市原病院(現・帝京大学ちば総合医療センター)がオープン
1987年 帝京技術科学大学(現・帝京平成大学)が開学
1988年 「王賜」銘鉄剣発見される



1989年 人口25万人を突破
1989年 中央武道館、保健センター・急病センターが完成
1990年 高滝ダムが完成
1991年 中央図書館が完成
1992年 ジェフユナイテッド市原(現・ジェフユナイテッド市原・千葉)のホームタウンに決定
1993年 モビール市(アメリカ合衆国アラバマ州)と姉妹都市提携
1993年 上総国分寺跡に展示館と復元中門が完成
1995年 館山自動車道が開通
1995年 千葉急行線(現・京成電鉄千原線)ちはら台駅まで開通
1995年 サンプラザ市原がオープン
1995年 市原市水と彫刻の丘(現・市原湖畔美術館)がオープン
1996年 勤労会館(youホール)がオープン
2005年 市原スポレクパークがオープン
2011年 第1回「上総いちはら国府祭り」開催
2013年 上総更級公園完成
2014年 「いちはらアート×ミックス 2014」開催
2017年 小湊鉄道駅舎群等22件が、国の登録有形文化財として登録
2018年 養老川流域田淵の地磁気逆転地層が、国の天然記念物に指定
2018年 市役所第一庁舎完成
2018年 ラグビーワールドカップ2019™のアイランド代表チームの公認チームキャンプ地に選ばれる

平成

市原市役所第一庁舎完成(2018年)



令和

2020年 約77万4千年～約12万9千年前の地質年代を「チバニアン」と呼ぶことが決定